

令和3年11月4日

運営協議会委員各位

学校運営協議会会長 首藤 規康

令和3年度 第2回高森東学園学校運営協議会会議録

下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. 日時：令和3年11月4日（木）19：00～
2. 場所：高森東学園2棟会議室
3. 出席者等
運営協議会委員13名
教育委員会（甲斐教育指導員、工藤寿恵教育委員、植田係長）、教頭2名、高森東学園CS
担当職員、計20名
欠席者（吉良山美津子さん、甲斐富美子さん、古澤慶次さん）
4. 日程
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議事
 - (1) 前回議事録確認
※本年度第1回目は書面返信（12名）により承認されたことを確認
 - (2) 協議
現在の東学園の活動から
 - ア) 学校長による今年度の取組と説明
 - ・プレゼンによる説明 “全員で輝く”を中心に。
 - これまでのブロックごとの行事の紹介。（運動会、ブロック集会、修学旅行等）
 - 知・徳・体の3つのプロジェクトチームを作り、校内研修を行っている。
 - 研究発表会について。
 - 今後の行事について。
 - イ) 協議会委員による、現在の東学園の活動に対する質疑応答
 - i) 質疑応答
 - 学校長の今年度の取組と説明をもとに話し合う。
 - ・コロナ禍の中で、地域との関わりが少なくなってきたが、心配なのは以前の地域とのかかわりが戻ってこないことである。コロナが終息したらこれまでのつながりを途絶えさせないように、徐々に戻して行ってほしい。（工藤智

宏さん)

・コロナ禍だからこそ、子供たち同士の会話や大人との会話がもっともっとできるようになってほしい。まずは挨拶からという気持ちを忘れないでほしい。

(城井若生さん)

ウ) 目指す学校像について

(1) グループ編成、司会・記録者・発表者決め(3分)

(2) 学校長の話や東学園の活動の様子から、目指す学校像について、意見を出し合う。(10分)

1班(工藤智宏さん)

- ・34年と89年との関りが貴重、教えあいができている。
- ・タブレット、パソコンのスキルがついている。
- ・失敗を恐れない姿が伸びる要因
- ・自分たちでやる責任感がついてきている。
- ・先生方に恵まれている。
- ・学校が好きである子がほとんどである。

2班(林秀一さん)

- ・義務教育学校のシステムになって縦のつながりが強くなった。人数自体は少ないが縦のつながりができた。
- ・ICTのスキルがすばらしい。卒業後、高校に入った時点で子ども自身がスキルの差を感じている。高校で友達に教えている姿がある。
- ・コロナで地域とのかかわりが薄れてきている。卒業生を招いての講話ができていないことが残念、ICTを使って地域の方はもちろん世界で活躍している人たちとつながるチャンスを与えられるハードとスキルがあるのではないか。

3班(渡辺真次さん)

- ・挨拶ができるのがよい。
- ・自分の意見がよく言える。ブロック別の成果ではないか。
- ・コロナでいろいろなイベントができていない。ICTがうまく使えているので保育園とのつながりもあった。TPCを見られるお年寄りが多い、TPCのさらなる活用が必要。

山本教頭より

やらないことが当たり前にならないように、つないでいきたい。

(3) その他 特になし

(4) 学校からの連絡

- ・11月11日(木)ひめゆり文化祭 案内発送済み。
高森ふるさと学を中心に学んだことを発表します。
- ・続いて持久走大会について。

自分で選んだ距離を走ります。

- ・ 12月10日授業参観を開催します。
運営協議会の方にも案内を送ります。
- ・ 次回の連絡について。

12月は教職員に関する任用に関して協議を行います。

予定：12月初めに調整します。

(5)教育委員会から

(甲斐教育指導員から)

- ・ 教育指導員として学校を訪問している。人数は少ないが、本当に5人か？と思うような授業が活発に行われている。高森の3校を訪問しているが子供の声を聴くことがうれしい。

(植田係長から)

- ・ 編集をさせてもらったが生徒が楽しそう。先生方が普段から授業をされているからだろう。
- ・ ICTは大切が顔をみながら話をするのが一番。
- ・ やはり顔を合わせるの大切だなと思った。学校に来ることができる機会を与えてもらってありがたい。議事録の意見をみると、保護者の方々も学校が好きで協力したいと思っていらっしゃることがすばらしい。その体制をよりよくできるように協力したい。